

《国際サーバスのニュースレター》

今回の 2024 年第 1 号はユース会員が中心になって編集されたものです。若い人たちのサーバス体験記、お知らせ、興味深い記事で盛りだくさんとなっています。国際部が要約をしました。下のサイトが英語版の会報で、国際サーバスのホームページでも見るができます。

http://servas.org/sites/default/files/uploads/news/newsletters_bulletins/2019/youth_news_bulletin_1_compressed_1.pdf

SINB 国際サーバス会報 2024 年 第 1 号

P	要約
2	《SI 会長のメッセージ》 国際サーバス会長 Radha Radhakrishua 今回の特別号はサーバスユースメンバー（30 歳以下）によって作成された。 2024 年は多くのメンバーに直接又はバーチャルで参加してもらえよう、地域会議、平和会議、ユースキャンプ、他の地域イベントなど開催、平和と環境の持続可能性を推進する。
	《2025 年 SICOGA 開催地決定》 2025.10.3～9 デイジョン フランスにて開催
	《女性の地位向上に関する国連委員会（CSW）に参加》 Mei & Denny 台湾 国際サーバス国連チーム（SIUN）は毎年 3 月中頃開かれ 世界のいろいろな地域の女性たちの苦境や向上についての話を紹介、世界に発信する活動を行っている。
4	《サーバススピリットを分かち合う》 国際サーバス副会長 Carla Kristensen 国際サーバスは今 ユース（30 歳以下）に注目。彼らのニーズに合うプログラム（サーバスユースの語学研修体験(SYLE)、ユースキャンプ等）を計画、ユースメンバーがユース会議やサーバス国際会議（SICOGAs）に参加できるよう資金提供している。
5, 6	《サーバス開発委員担当部より》 委員会議長 Bhudeb Chakravarti 国内外のサーバスの発展のため世界平和、社会正義、環境と気候、文化交流、創造芸術、語学研修などを含む Special Interest Groups（特定の分野の会員間の自由な情報交換の場 SIG）の設立を提案。
7	《サーバス 75 周年記念ロゴマークをデザイン》 Sayan Roy インド 調和と統一を表現するオリジナルのサーバスロゴマークを基に 世界 6 大陸を象徴するオレンジとイエローを 6 つの色合いで組み合わせることでロゴマークを創作した。
8, 9	《サーバスで素晴らしい体験をする》 Ariel Farfan ブラジル サンパウロの Tere と Cesar 宅にステイした私は、彼らの地区の貯水槽に壁絵を描いたり、サー

	<p>バス会員との交流を通して、アーティストとして人として、これからの人生の大きな方向性をつかむことが出来た。また、私の町を訪れた Tere と Cesar、地区サーバスの Alvany とで記念すべき川下りを楽しんだ。</p> <p>その後、2023 年サーバス南米ユースのエコキャンプに参加し、受付に壁絵も描いた。サーバスブラジルや外国の会員達との交流はいつまでも私の中に残るだろう。</p>
10 11	<p>《旅先で思いがけないサーバスとの出会い》 Abbey Ortner Ham オーストラリア</p> <p>2023 年 9 月、20 歳の私は単独、片道切符、無計画でヨーロッパに出発。一週間漂流し途方に暮れた時知り合いから“サーバス”を勧められオンラインで面接後メンバーになった。親切なホスト達のお陰でフランス、イタリア、スペインを旅して回った。“サーバスユース”のネットワークを紹介され 同世代のメンバーたちと一緒に過ごすとてもユニークな機会を得た。色々な国の人に会うことで戦争や政治崩壊、気候変化などがいかに人々の日常生活に影響を与えるかという事に直面、しかし他の人と繋がることで人の心に元気を与えることも知った。サーバス体験を通して世界に希望と平和の種が蒔かれると信じている。</p>
12 13 14	<p>《初めてデイホストになって》 Igina Gabriela Pereira ブラジル</p> <p>デイホストとしてアメリカからのメンバーを 5 日間私のホームタウン Petrolina の名所を案内。主な名所、地元の珍味を味わってもらいながら回った。別の日には友人たちを誘いピクニックに出かけた。</p> <p>私達はアメリカとブラジルの話や人気のカードゲーム“UNO”などして大いに盛り上がった。Sao Francisco 川でのポートツアー、地元の歌手と会いブラジルのポピュラー音楽などの交流。 また、大学を訪れ 学生たちと“サーバス”について話す機会を持った。彼らはブラジルの格闘技に興味がありカポエイラのレッスンを受け、友人の家で柔術のトレーニングにも参加、次の目的地へ向かった。</p> <p>今回友情だけでなく他の国の文化や言葉を学ぶことが出来、更にメンバーに地元を案内して、自国の文化や都市に新鮮な見方を持てた。この機会を与えてくれたサーバスに大いに感謝。</p>
15 16	<p>《SYLE で僕の人生はすっかり変わった》 Santiago Heusser チリ</p> <p>僕は 14 歳の時 SYLE（サーバスユース語学研修体験）を利用して北アメリカに 1 か月ほど滞在した。4 人の素晴らしいホストファミリーと過ごしながら文化を吸収する貴重な体験だった。</p> <p>最初に行ったのはニューヨーク。自由の女神や色々な食べ物を試食したりして 1 週間マンハッタンを満喫。興奮が止まらなかった。</p> <p>ボストンではバレーボールをしに何度かビーチに行ったり、チリの建国記念日にはホストと手作りのチリのホットドッグで祝った。</p> <p>ボストンのニュートンではバークリーカレッジ ハーバード大学、MIT などをチェック。ニュートンでは何度もバレーボールをし、野球の Red Sox の試合にも連れてってもらった。最後はマサチューセッツとバーモントをクルーズ。鹿に餌をやったり、山をハイキングしたりと素晴らしい体験をした。</p>

	それは完ぺきな僕のアメリカ冒険旅行の終わりの締めくくりだった。 U S サーバス会議では皆さんから大歓迎され、僕のアメリカ旅行に興味をもってもらった。この経験で得た友人達と思い出は一生忘れないだろう。
17 18	<p>《合衆国からブラジルへ》 Hannah McKenzie アメリカ</p> <p>ブラジルポルトガル語を学ぶために SYLE プログラムを利用した私は、サンパウロの生活を経験し、続いてリオデジャネイロへ移動した。これらの 2 都市でホスト、デイホストまたその家族との深いかわりを通して豊かな経験が出来、それから新たにリオでの生活を始めることになった。</p>
19 20	<p>《サーバスの初めての経験》 Albain Girard フランス</p> <p>僕は恋人の Elise と二人、4 か月のサバティカル休暇を利用し、ベトナム、カンボジア、ラオス、ニュージーランド、チリとペルーを旅した。食、自然、サーバス会員の人間性、多くの文化に感動した。一方で、気候変動で引き起こされた様々な現象やゴミ・汚染問題を目撃し、この旅を最後の飛行機の旅にしようと思った。西洋世界に留まっていたらこんな経験は出来なかっただろう。</p>
21 22	<p>《ブラジルサーバスユースミーティング'Paio Grande Camp'での経験》</p> <p style="text-align: right;">Diego Oblitas Novoa ペルー</p> <p>5 歳の時から 20 年の豊かなサーバス経験を持つ私には、南米サーバスユースミーティング参加は忘れられない思い出の 1 つである。素晴らしい自然の中で、アクティビティを通して、『お互いの文化を知り平等な関係を結び環境に配慮する』というこの運動を世界平和構築の為に広げていきたいと強く思った。</p>
23 24	<p>《大陸を越えて結びつく》 Vishakha Khetrapal インド & Briga ドイツ</p> <p>私達は、最初サーバスユースグループの中で、ドイツ語の練習という目的を通じて知り合い、それが発展して、文化、習慣、考え方を学び合うことになり、期待していた以上の繋がりができた。お互いへの質問に答え、二人の関係の始まりから将来の目標、サーバス活動から得られた信念等を語り合った</p>
25 26	<p>《祝 '国際母語の日'》 Bhudeb Chakravarti インド</p> <p>多くの母語が、グローバリゼーション、都市化、主要言語に偏る政策等で消失の危機にあるが、これは文化の多様性だけでなく、これらの言語に内包される豊かな知識をも失う事を意味する。2月21日という日付は歴史上の事件と結びついた日付である。深く文化と結びつく母語ベンガル語を公用語にと主張する東部パキスタンの人々とウルドゥ語を唯一の公用語であると主張する西部パキスタンとの紛争をきっかけとして、バングラデシュが独立する事となった。言語の多様性と文化的権利を促進するという目的で UNESCO は 1999 年にこの日を'国際母語の日'と制定した。</p>
27	<p>《ブラジルでの経験》 Claire Taillardat フランス</p> <p>ブラジルのサンパウロで Lucilene は私を 2 回迎えてくれた。次はフランスで私が彼女をホストするつもりだ。私達は同い年、同じ職業の就いていて、これからも文化の交流を続け、友情を</p>

	育みたい。
28	<p>《トルコのサーバス・ピーススクール》 Mehmet Ates トルコ</p> <p>サーバスピーススクールは 2009 年から毎年7月にトルコの Ekinçi 村で開催されている。ボランティアはホームステイしながら生活し、文化や経験の交流をしながら、村の子どもたちが世界を知ることを目指して、外国語、アート、手工芸、映画。天文学、科学、チェス、数学等を教えている。2月のトルコ、シリア地震後は、災害でもたらされた文化喪失、社会文化活動と意欲の低下と闘うために1年中開かれることになった。</p> <p>平和を希求する人はここに来て、我々と生活を共にして、他の人びとが憎しみをつのらせる前に子供たちの中に平和の芽を育てよう！</p> <p>《2024 年世界で開催されるピーススクールのお知らせ》</p> <p>Carla Kristensen 国際サーバス副会長</p> <p>Mehmet や全てのボランティアのおかげで、2024 年は、ジョージア (6/22～29)、バングラデシュ (7/18～23)、ウガンダ(8/25～30)、アルゼンチン (年末) で開催されます。平和、相互理解、サステナビリティを目指すオーガナイザーやボランティアの皆さんに感謝します。</p> <p>詳しい情報は Events and meetings/Servas Online へ</p>
29	<p>《アーティストたち集合！》 Lilly Kerekes & Cynthia Granados メキシコ</p> <p>サーバスアーティストの仲間になりませんか？イベントや展覧会の情報を共有できるように、また全てのサーバス会員がアクセスできるような名簿作成の予定です。2024 年 5 月 31 日までに登録をお願いします。この会報の 29 ページ参照の事。</p> <p>質問、コメントは youthservasmx@gmail.com へ</p>
30	<p>2022 から 2025 の国際サーバス役員等とその連絡先 国際イベントのお知らせ</p>
30	<p>《サーバスの理念》</p> <p>国際サーバスは、各国のサーバス団体から成る非営利、非政府の連盟で国際間のホストとトラベラーのネットワーク作りを促進する。我々のネットワークは、様々な文化、経歴、国籍を持つ個人間の交流を促すことで世界平和、親善、相互理解に貢献する事に努めることを目的とする。</p>

国際部 米田和枝、田尻文代